

全世界

人種差別

なくそうよ

神奈川県逗子市 小学5年
荒牧 敬

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

あるいのち

みんな平等

あいことば

東京都昭島市 52 歳
石井 小百合

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

全ての人々が国や人種・年齢・能力などのさまざまな条件にかかわらず、平等にいのちを与えられていると思いました。生きることには不公平があってはならない、ハンディがあるのであればそれは人間が知恵を出し合い助け合える世の中になれたらよいと願います。

何人(なんびと)も 自分で自分を 選べない

埼玉県入間市 54歳
加納 晃彦

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

生まれてくる時代、国、家庭環境、経済状況、健康状態、能力等々は、誰も自分で選ぶことが出来ません。豊かだったり貧しかったり、平和だったり紛争の真っ最中だったり、また、五体満足な子もいれば障害を持って生まれてくる子もいます。世の中、個人個人の努力ではどうしても出来ないことで溢れています。人間は皆平等であるべきと思いますが、残念ながらなかなか実現には至りません。生まれながらに不平等であるからこそ、平等に近づくよう努力すべきで、そのためにはまず互いの違いを認識し、尊重しあうことが大切ではないかと思えます。

忘れ得ぬ 苦しみ多くとも 豊かな人生

東京都新宿区 54 歳
久保田 隆弘

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

痛みや苦しみを忘れず生きていくのは辛い。ただそれ故にこの世界の素晴らしさを、繋がりや優しさを感じられ、豊かな日々を送れるのではないかと考えています。

とちうばい ひとをへらして なにのこる

神奈川県逗子市 42 歳
佐藤 マサカツ

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルの攻撃問題など、近年になり、戦争というものがより身近になってきていると感じる。その中で、戦争は土地や領土の奪い合いだが、その為に自国民や他国民を減らすことに矛盾を感じ、戦争を行い、土地を奪うことにどれだけの意味があるのかを改めて全世界の皆で考える必要があると感じる。日本も中国や北朝鮮、ロシアなどの直接的な脅威がある中で、改めて戦争について真面目に考える必要があるので、このテーマを選んだ。

秋の霜

無念の声を

法が聞く

京都府京都市 高校2年
椎名 倫子

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

今年の夏休み、高校生模擬裁判選手権という大会に検察官側として参加しました。被害者の声をどう受け止めるのか。法廷での証言として、未来に残る資料としてどう生かすのか。非常に難しい課題でした。何かの権利が侵害された人にとって、法は最後の手段だと思いません。その意義がこれからも続いていけばいいと願い、この句を作りました。

生活苦

廃止はまだかな

消費税

神奈川県三浦郡葉山町 34 歳

瀬戸 宏規

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

自民党が国民を騙し搾取し続けてきた消費税。増税に次ぐ増税。8%から10%。そしてその先へ。諸外国は、不況時、消費税減税を行ってきた。ドイツ、マレーシア、etc...減税効果として、経済の回復が起こった。何故、日本は減税を行わないのか？黒幕は後ろにいる財務省とされている(本コメント欄では割愛)。消費税は、所得に関係なく日本国民全員に対して一律の負担となる。結果として、一般庶民に一番負担がかかることになる。。。不平等ではないだろうか？レジの対応が出来ないと自民党はのたまっている。やれない理由を探すのは2流3流の考え方ではないだろうか。どうやったら消費税廃止を行えるか。そこに焦点を当て注力していただきたい。仮にレジの対応に1年かかろうとも、生活に苦しんでいる国民のために死に物狂いで働くのが国会議員の使命ではないだろうか。上級国民に寄り添う今の政治をぶち壊したい。と思いつつも個人の手ではどうする事も出来ない想いがあり、その想いが、「廃止はまだかな」という一節に込められている。消費税が廃止されるその時まで声を上げ続けることをここに誓う。

ひと声が 誰かの笑顔 救ってる

神奈川県逗子市 40歳
田中 謙斗

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

今回は人のつながりと SDGs を絡めた川柳を考えました。「小さな思いやりの積み重ねが、誰かの心を救い、社会をより良くしていく」という思いをもとに作成いたしました。SDGs の掲げる「誰一人取り残さない」世界の実現は、特別な行動だけではなく、日々のやさしい声掛けや気づかいから始まるので人と人のつながりを大切にして、お互いに支えあう事が持続可能で温かい未来を創る事だと考えました。

つらい思い

人も魚も

したくない

神奈川県逗子市 小学5年
田中 優紀

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

人がつらい思いをしたくないのと同じで、魚もつらい思いをしたくないと思うからもっと考えよう。



生まれつき

ひとりひとり

みんないい

神奈川県藤沢市 小学4年
田淵 紗世

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

障害がある人だって、生まれつきあざや傷が付いているひとだってみんなみんないいんだよとつたえたかったからこの川柳にしました。

あたりまえ それがなくなる 世界へと

神奈川県逗子市 小学5年
塚本 日香

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

身の作り

違った個性

多様性

神奈川県逗子市 小学5年
中村 太紀

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

地球人

皆で共存

SDGs

福島県二本松市 68歳
二瓶 博美

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

地球に住む人間は、皆同じ地球人です。争うこと無く、平和に暮らせる世界にしなければなりません。先進国が後進国を助け、紛争や戦争の有る場所や国を、地球全部でくい止める努力をしねばなりません。地球人みんなが平和に暮らせるように。

同じ人 差別はいけない 平等に

神奈川県逗子市 小学5年
原田 碧生

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

差別は、ダメということ。立場が違うから憎み合っている。そういう差別を消したい。

人と人

色々ちがう

びょうどうに

神奈川県逗子市 小学5年
眞下 紡

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

人や国 不平等が ないように

神奈川県逗子市 小学5年
森 慶太郎

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

不平等がなくなるといいから。

違いこそ

色とりどりの

花になる

広島県三原市 25歳
和田 泰征

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

この作品は、SDGs 目標 10「人や国の不平等をなくそう」をテーマにしています。人はそれぞれ、国籍・性別・年齢・考え方・文化など、さまざまな「違い」を持っています。しかし、その違いを「壁」として分けるのではなく、社会を彩る“色”や“個性”として認め合うことで、より豊かで温かい社会をつくれるという思いが込められています。「花になる」という表現には、・違いを受け入れることで、社会に多様な美しさが生まれる・一人ひとりが大切な存在であり、みんなで咲くことで大きな調和が生まれるという願いが表されています。この川柳は、「多様性を受け入れることこそが、人や社会の“強さ”と“美しさ”を生む」というメッセージを優しく伝える作品です。